

一 般 質 問 通 告 書

令和7年3月定例会 (No.1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 野村 広 志	1 農業政策 の展望につ いて	(1) 本市の農業者数は、高齢化等により近年減少傾向にあることに伴い、荒廃農地の積極的な活用ができていない現状がうかがえる。そのような中、農地別の担い手を地図上に示した、目標地図を定める地域計画の策定が本市でも進められている。今後、農地中間管理事業による農地の集積、集約の加速化が期待されるが、農地を有効に活用していくための取組について問う。	市 長
		(2) 地域計画の策定後は、次世代に農地を引き継いでいくため当該計画の毎年の更新が必要であると認識しているが、更新をどのように進めていく考えか問う。	市 長
	2 港湾行政 の展望につ いて	(1) 志布志港長期構想（素案）について、1月29日に行われた志布志港長期構想検討委員会でおおむね了承されたとの報道がなされた。今後、県により策定される具体的構想計画に基づいて整備が進んでいくものと期待されるが、港湾を抱えている地元自治体の声は、どの程度反映されたと認識しているか問う。	市 長
		(2) 今後の港湾振興の在り方を検討する中で、志布志港が抱えているソフト面の課題をどのように捉えているか問う。	市 長
2 青 山 浩 二	1 施政方針 （教育行政）につ いて	(1) 学びの多様化教室「松風」においては、通所生への学習保障と体験活動の充実を図るとともに、市学びの多様化に係る基本構想策定検討委員会の答申を踏まえながら、子どもたちのニーズに応じた学びの保障に向けて、オンラインでの学習支援と県内初となる公立の学びの多様化学校の令和8年4月開校に向けて取り組むとしているが、具体的な内容について問う。	市 長 教 育 長
		(2) 確かな学力の育成については、小・中学校に対して、これまでのアナログ教材とのバランスを考慮しながら、デジタル教科書を導入するとともに、児童生徒が自分の理解度に応じて動画の視聴やWebドリルに取り組むことができる学習ソフトを導入し、一人一人の子どもに応じたより効果的で多様性のある授業展開を図り、学ぶ意欲や学習理解度の向上に努めるとしているが、これまでの成果と課題及び今後の具体的な取組内容について問う。	市 長 教 育 長

一 般 質 問 通 告 書

令和7年3月定例会 (No.2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
3 小野 広嗣	1 施政方針について	(1) 転出者数が転入者数を上回っている社会減への対策を当初予算の柱とした結果、一般会計予算の総額は、298億円となり、令和6年度当初予算と比較し34億円、12.9パーセントの増で、過去最大の予算規模となっている。「入るを量りて出づるを制す（歳入の範囲内での予算編成）」を基本方針とする中、今後の人口減少への課題と対策について問う。 (2) 公共施設や各地域コミュニティ協議会の活動拠点への公衆無線LANの整備を年次的に進め、災害時の避難所開設での利用など、ICTによる利便性の向上を図るとあるが、災害発生時における避難所等の通信確保や良好な生活環境の確保について問う。 (3) 水道施設の計画的な更新や主体的な管理作業、配水管等の布設替え等による施設の長寿命化や漏水等への迅速な対応に努めるとあるが、1月28日、埼玉県八潮市の交差点で道路が陥没し、トラックが転落する事故が発生した。事故原因は、下水道管の破損に起因すると見られているが、本市は八潮市の陥没事故をどのように受け止めているのか。 (4) 全ての妊産婦、子育て世帯、こどもに対して、切れ目のない相談支援等を一体的に行う機関である「こども家庭センター」を設置するとあるが、設置後の各種事業の展開について問う。	市 長 市 長 市 長 市 長
	2 投票率向上のための施策について	(1) 本年7月の参議院選挙や明年早々に行われる市長選挙・市議会議員選挙へ向けた投票率向上のための施策と、投票率が低い若年層の投票率を上げるための考え方について問う。 また、主権者教育をはじめとした選挙に関する学校教育の充実について問う。	選挙管理委員長 教 育 長

一 般 質 問 通 告 書

令和7年3月定例会 (No.3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
4 平 野 栄 作	1 環境行政について	(1) 平成11年から、旧志布志町において資源ごみの分別収集が開始され、それまでの埋立処分からリサイクルへと大きく舵を切った。その結果、本市は、全国で常に上位のリサイクル率を誇っている。また、埋立てごみの約2割を占める紙おむつの再資源化に取り組むなど、埋立処分施設の更なる延命化を目指している。 一方で、高齢化の進展等に伴うごみ出し困難者の増加や不法投棄も顕著になっているように感じることから、次の点について問う。 ① 仮に、本市単独でごみ焼却施設を建設とした場合の経費と維持費について ② 市民1人当たりのごみ処理費の推移について ③ 不法投棄ごみ対策に係る取組について ④ 地区ごとの単位衛生自治会長会開催の有無と出された意見等について、市は把握しているか。 ⑤ 衛生自治会で生ごみ処理機購入の助成を行っているが、更なる生ごみ搬出の負担軽減を図るため、本市単独の事業として生ごみ処理機の貸与など取り組むことができないか。 (2) 市花であるひまわりを活用した「サンサンひまわりプラン」を見直し、今後改めて取り組んでいく考えはないか。	市 長
	2 学校施設の環境整備作業について	(1) 小・中学校における敷地内の環境整備作業（愛校作業）は、学校・PTA・地域等により実施されている。作業実施後に発生する多量の刈り草の搬出について、負担軽減の方策を問う。	市 長 教 育 長
	1 志布志港の振興について	(1) みなと振興課の現在の役割について問う。 (2) 志布志港は、海上輸送網の拠点として重要港湾に指定されているが、このことをどのように認識しているか問う。 (3) 志布志港は、南九州地域における国内外の物流拠点となっているが、本市としての利活用促進策について問う。 (4) にぎわいの創出や誘客につなげるため、お釈迦まつりやみなとまつりなどのイベントと連携した取組ができないか問う。 (5) 大規模災害の発生に備え、防災拠点として耐震強化岸壁などの整備が必要と考えるが、国や県に整備を要望することについて、市長の見解を問う。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和7年3月定例会 (No.4)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
5 小 辻 一 海	2 企業誘致について	(1) 工業団地整備事業について、現状と今後の展望を問う。 (2) 住友林業株式会社と市臨海工業団地(5工区)の土地売買契約を締結し、令和4年2月に立地基本協定を結んだが、現状と今後の見込みについて問う。 (3) 今後、更なる企業誘致に取り組み、雇用の促進につなげていく必要があると思うが、市長の見解を問う。	市 長 市 長 市 長
	3 市制施行20周年について	(1) 志布志市が誕生して20周年となるが、市制施行20周年記念式典記念イベントの概要について問う。 (2) 10周年記念式典時における反省や総括などがなされた上で、20周年記念式典記念イベントが計画・立案されているか問う。	市 長 市 長
6 丸 山 一	1 道路行政について	(1) 市道西谷線及び井久保2号線は、バイパス道路として利用されているが、カーブが多く、見通しが悪い状況であるため、改良できないか。	市 長
	2 水道行政について	(1) 発がん性が指摘される有機フッ素化合物について、国内外の水道水で検出されている事案がある。市民の健康を守るためには、水道水の安全確保が求められるが、本市の状況を問う。	市 長
7 永 田 梓	1 みどりの食料システム戦略について	(1) 令和5年3月に策定された志布志市農業振興計画における「有機農業の推進」について、1年が経過したが、現在の進捗状況を問う。 (2) 環境負荷軽減の取組として、環境保全型農業直接支払交付金事業を実施しているが、取組状況及び今後の事業展望を問う。 (3) 農林水産省は、持続可能な食料システムを構築するため、環境負荷低減の取組の「見える化」を令和6年3月から開始しているが、本市の取組状況を問う。	市 長 市 長 市 長
	2 環境行政について	(1) 本市のリサイクル事業について、本市を訪れた方や市民の理解をより深めることを目的として、ボランティアによる「市民ガイド」を養成する考えはないか問う。	市 長
	3 母子ケアについて	(1) 様々な理由から、妊婦が自家用車を運転して通院できない場合がある。国による交通費等の助成事業があるものの、「概ね60分以上の移動時間」等の条件があり、利用しにくい状況にある。本市独自でタクシー代等を支援することができないか問う。	市 長
	4 国際の森について	(1) 国際の森には、旧志布志町時代から使用されていない遊歩道があるが、遊歩道を市民の憩いの場として利活用するため、再整備する考えはないか問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和7年3月定例会 (No.5)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
8 稲 付 洋 平	1 P T Aと教育委員会の在り方について	(1) P T Aは、保護者と教師が協力し、子供の学校生活や教育活動を支援・推進するための組織である。最近では、P T Aへの強制加入、活動への参加と仕事の両立が難しい等の課題が表面化しており、他自治体ではP T Aを解散した事例もある。 本市におけるP T Aの在り方やP T Aと教育委員会との関わり方について問う。	教 育 長
	2 下水道等の現状と今後の整備計画について	(1) 下水道等について、排水管等の老朽化により漏水などの危険が増大し、メンテナンスや更新が急務となっている。下水道等の改修は、交通や生活への影響を最小限に抑えて行う必要があり、時間と費用が大きな課題であると思うが、市内の現状と整備計画等について問う。 ① 農業集落排水施設の管路等の維持管理と整備計画について ② 都市下水路の維持管理と整備計画について	市 長
	3 人口減少対策について	(1) 人口減少が進行している本市では、若者の地元就職支援や子育て支援を強化しているものの、都市部への一極集中が進行し、改善しているとは言い難い現状であると思うが、今後の取組について問う。	市 長
	4 多世代交流施設整備事業について	(1) 旧ひばりビルの多世代交流施設計画は、子育て世代を中心に地域コミュニティの活性化を図ることを目的として実施することは理解するが、建物の老朽化や改築費用等が課題であると思われる。今後の取組について問う。 ① 費用対効果の検証について ② 旧ひばりビルの耐用年数と修繕計画について	市 長
9 戸 山 晋 司	1 医療費負担削減の取組について	(1) 高齢化が進む中、医療費負担の増大は、大きな懸念事項となる。対策としては、予防医療に力を入れ、健康寿命の延伸を図る取組や医療サービスの効率化、自己負担割合の見直し等が考えられるが、本市の今後の施策について問う。	市 長
	2 移住定住促進の在り方について	(1) 移住定住支援施策については、39歳以下の方を対象とした事業が多いが、昨今の晩婚化により子育て世帯の年齢層も変化してきていることから、年齢要件を見直すことはできないか。	市 長
	3 市民の意見の反映について	(1) 各種実施計画の策定の際に、審議会の開催やアンケート、パブリックコメント等が実施されているが、市民の意見を十分に集約し、反映ができていると考えるか。	市 長 教 育 長

一 般 質 問 通 告 書

令和7年3月定例会 (No.6)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
10鶴 迫 京 子	1 公園（市民広場）の整備について	(1) 令和6年6月定例会で、屋根付き市民ふれあい広場を整備する考えはないか一般質問したが、調査研究するとの答弁であった。市民から「子供が家の中でゲームばかりしている」、「ウォーキングや散歩や友人と語り合う癒される広場がほしい」などの声も聞くが、その後の進捗状況について問う。	市 長
11持 留 忠 義	1 農業振興について	(1) 令和5年度に農業サポートセンターが設置されたが、事業の進捗状況を問う。	市 長
	2 畜産振興について	(1) 依然として子牛の価格や肉用牛価格の下落が続いているが、厳しい経営状況にある生産農家の更なる支援を行ってもらおうよう、国に対して要望することはできないか問う。 (2) 配合飼料価格の高騰が続いているが、対策を問う。	市 長 市 長
	3 茶業振興について	(1) 令和4年第4回定例会において、茶の年間平均価格が低迷している中で価格補填に取り組む考えはないかと質問したが、経営安定のための農業経営収入保険の加入への助成を行い、支援をしているとの答弁であった。収入保険に加入された方の人数とその効果について問う。 (2) 依然として肥料価格の高騰が続いており、生産農家の経営を圧迫しているが、本市としての見解と今後の具体的な対応策を問う。	市 長 市 長
12南 利 尋	1 物価高騰対策について	(1) 昨今、物価高騰に多くの市民が大変な思いをされている。誰ひとり取り残さないという観点から、市民の思いに寄り添ったどのような支援に取り組む考えかを問う。	市 長
	2 防犯対策について	(1) 闇バイトによる強盗事件や特殊詐欺など全国的に悪質な犯罪が多発している。市民の生命・財産を守るために、どのような防犯対策が講じられているのか問う。	市 長
	3 庁舎整備について	(1) 各庁舎に、市民や職員が気軽に利用できる売店・カフェ等を整備すべきではないか問う。	市 長
	4 観光振興について	(1) 道の駅整備やインバウンド対策など、稼ぐ観光地経営の実現に向けた施策について問う。 (2) ダグリ岬ベイサイドパーク構想の進捗状況と今後の課題を問う。	市 長 市 長
13小 園 義 行	1 施政方針について	(1) 令和7年4月に農業委員会を有明庁舎に移すとあるが、その後の松山支所の業務の在り方は、どのように変わるのか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和7年3月定例会（No.7）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
13小 園 義 行	1 施政方針 について	(2) 志布志庁舎は本庁兼支所、有明支所は農業分野を中心として再編されるが、松山支所をはじめ総合支所としての機能は、十分に保障されるのか。 (3) 県内初となる公立の学びの多様化学校の開校に向けて取り組むとあるが、基本的な考え方と今後の取組について問う。 (4) 「教育のまち松山」の構築を目指すとあるが、具体的な取組について問う。	市 長 市 長 教 育 長 市 長 教 育 長
	2 公共工事 について	(1) 市が発注する公共工事について、現在ある市内事業者で災害を含めて十分対応できるのか。	市 長
	3 認知症基 本法につい て	(1) 令和6年1月1日に施行されているが、本市での取組について問う。	市 長 教 育 長
	4 教育行政 について	(1) 新年度から全ての学級に担任の先生を配置できるように県教委としては対応がなされているのか。	市 長 教 育 長